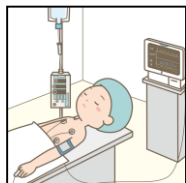


「全身麻酔で手術を受けられる患者さまへ」

①心電図や血圧計を装着していきます。



②まず、マスクから出る酸素を吸い、体に十分な酸素を取り入れます。その後、点滴から眠たくなる薬を注入します。



③手術中は点滴から持続的に薬を流すため、手術中は眠ったままの状態です。その際、人工呼吸器で呼吸の管理を行います。

手術

④手術終了後

- 手術が終了したら、点滴から持続的に流している薬を止めて、全身麻酔から覚めていただきます。その後に、手術室で意識状態を確認し、問題ないようならば病棟へ戻ります。この時は全身麻酔が切れている状態です。
- 病棟へ帰った後は、薬の影響で1時間程度眠たい状態が続くことがあります。
- 手術や麻酔の影響で痛みや吐き気が生じることがあります。その際は病棟看護師に申し出てください。
- 痰を飲み込むと誤って肺に入る場合があります。飲み込まずにティッシュなどに吐き出してください。
- 全身麻酔中に使用するチューブの影響で、喉の痛みや声のかすれが出現する場合があります。悪化する場合は、病棟もしくは外来の看護師へお伝えください。